



CEReS

Newsletter No. 17

Center for Environmental Remote Sensing, Chiba University, Japan

千葉大学環境リモートセンシング
研究センターニュース 2007年4月
発行：環境リモートセンシング研究センター
住所：〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33
Tel: 043-290-3832 Fax: 043-290-3857
URL: <http://www.cr.chiba-u.jp/>

インドネシア ハサヌディン大学との国際交流



2007年4月3日 CEReSを訪問



2007年4月3日に、CEReSと部局間協定を結んでいるインドネシアのハサヌディン大学の代表団が千葉大学を訪れました。

一行は、まず千葉大学学長を表敬訪問し、ついで、CEReSとベンチャービジネスラボラトリーを見学しました。CEReSでは、衛星データアーカイブシステム、ライダー装置など施設を見学し、リモートセンシングの大気、雪氷、グローバル土地被覆、水文、農業などへの応用の広がりとその研究成果を実感して頂ける機会になりました。

ハサヌディン大学はインドネシア共和国の南セレベス県にあり、14学部、約2万人

の学生を擁しています。これまでのハサヌディン大学と千葉大学との交流をもとに、平成17年10月にハサヌディン大学環境研究センターと千葉大学環境リモートセンシング研究センターの間で部局間協定が締結されました。今回の学長一行のCEReS訪問を機に、今後、CEReS研究者が協力する形でハサヌディン大学にリモートセンシングセンターを構築することを検討するとともに、大学間協定へ向けて積極的な協議を進める予定です。



学長との懇談

(インドネシア側訪問者)

1. Idrus A. Paturusi 学長
2. Prof.Dr. Idrus A. Paturusi 学長
3. Dr.dr. Andi Wardihan Sinrang, MS 副学長
4. Dr. Dwia Aries Tina Pulubuhu, MA 副学長
5. Prof.Dr.Ir. Syamsuddin Hasan, M.Sc 畜産学長
6. Prof.Dr.Ir. Sudirman 海洋学部長
7. Ir. Nurdin Abdullah, Ph.D 農林学部 教授
8. Deddy Tiksnawadi Tikson, Ph.D 社会政治学部長
9. Prof.drg. Dharma Utama, Ph.D 歯学部長
10. Prof.Dr.Ir. Mursalim 農学部長



CEReSの研究の概要を紹介する久世教授

大学間連携研究

「地球気候系の診断に関わるバーチャルラボラトリーの形成」始まる

平成19年度政府予算において特別教育研究経費による大学間連携研究が認められました。この研究計画は千葉大学環境リモートセンシング研究センター (CEReS)、東京大学気候システム研究センター (CCSR)、名古屋大学地球水循環研究センター (HyARC) および東北大学大学院理学研究科附属大気海洋変動観測研究センター (CAOS) が「地球気候環境研究の連携に関する大学附置研究センター協議会 (平成19年度幹事校：名古屋大学)」を設け内容を検討し、大学間連携研究として申請を行いそれが認められたものです。

この研究は地球気候系の診断を行うために気候・環境研究に関わる他の大学附置研究センターと協力してバーチャルラボラトリーを形成し、各センターの特色・得意分野を活かした研究・教育を連携して行うものです。当センターはこの中で気候診断に関わる衛星データおよび検証用の高精度な観測網の整備を行い、全球モデル(GCM)や領域気候モデル(RCM)および雲解像モデル (CRM)の精度向上に貢献することを目標としています (下図右側に相当)。このため本連携専属の特任教員を採用し (下記参照)、バーチャルラボ (VL) 支援室を設けます。また当センターは研究機関ですが、同時に大学に所属する教育機関でもあるため、他の研究センターとの共同研究を通じ国際的な若手研究者の輩出を行い、大学附置センターとしての役割を果たしていきます。

(西尾文彦・樋口篤志)

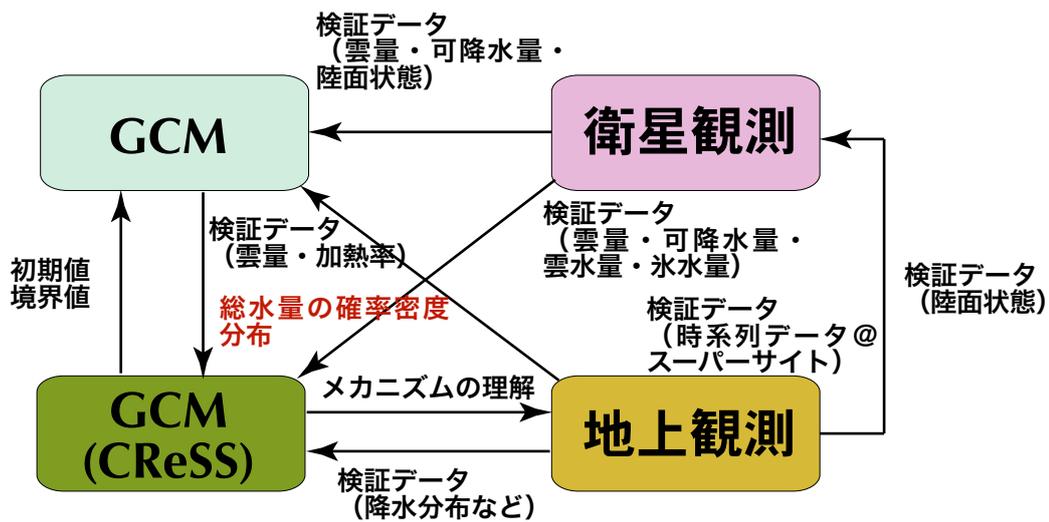


図 4 センターバーチャルラボラトリーによる連携模式図 (提供 名古屋大学篠田太郎博士)

(新任紹介)



山本宗尚 (特任教員)

ご挨拶

4月1日より特任教員 (4大学センター連携「地球気候系の診断に関わるバーチャルラボラトリーの形成」) として着任いたしました。昨年度までは名古屋大学大学院に在籍の傍ら、同大学21世紀COEプログラム研究アシスタントとして研究に携わっておりました。専門は衛星気象学で、主に熱帯降雨観測衛星 (TRMM) データを用いた解析をしています。これまでの研究テーマとして、TRMMに搭載された複数のセンサを組み合わせることにより、中緯度域の冬季降水現象の解析や、雲・降水システムに対するセンサ応答特性の比較を行ってきました。本センターはさまざまな衛星データの解析をなさっている教員や研究者の方々がおられ、ゼミなどを通じて分野横断的かつ多様な観点から議論させていただけると思います。

ご指導・御鞭撻下さいますようよろしくお願いいたします。